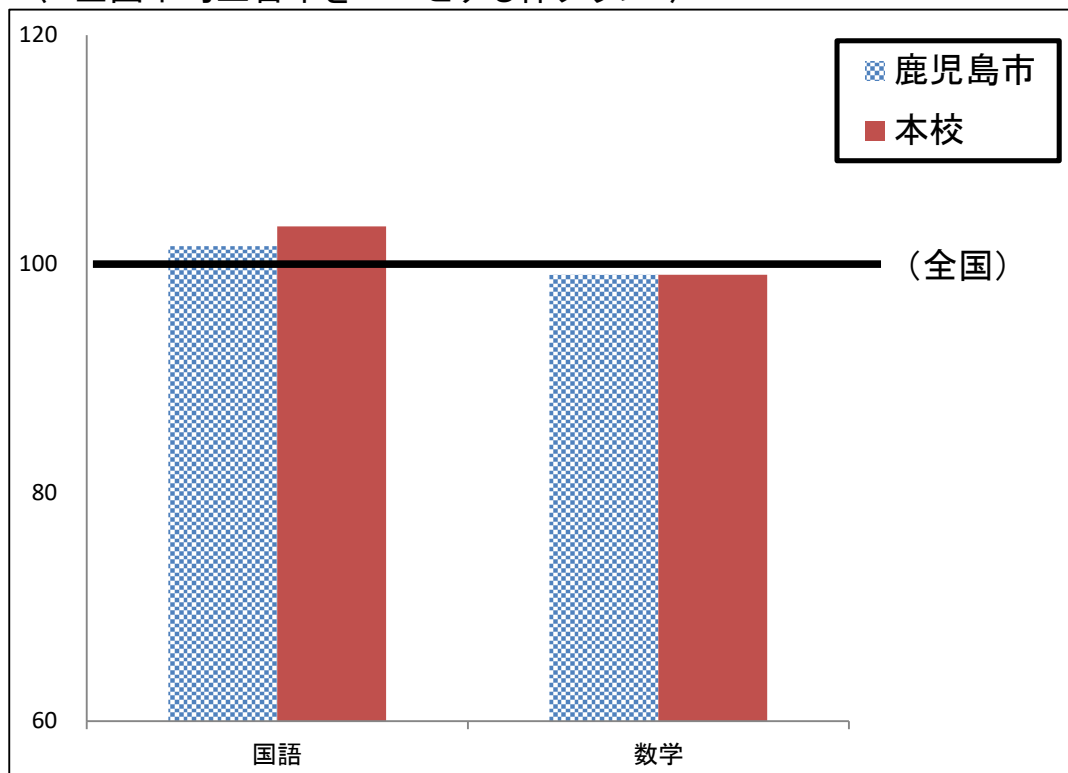


令和6年度全国学力・学習状況調査結果について  
鹿児島市立伊敷中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

評価の観点、問題形式別で平均正答率を見てみると、全ての区分で全国・県・鹿児島市の平均正答率を上回る結果となりました。しかし、学習指導要領の内容別の知識及び技能の「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」において、全国・県の平均正答率を下回る結果となりました。意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解すること、短歌、行書の大問において、平均正答率が下回る結果となったので、第2学年の「短歌」の指導において、表現の技法や描写を基に心情等を読み取る学習の充実に、重点的に取り組んでまいります。また、「書写」の指導において、行書の特徴についての指導を重点的に取り組んでまいります。

〈数学〉

全体で見ると、全国平均正答率とほぼ同じ平均正答率でした。領域で見ると、「数と式」で全国・県の平均正答率を上回る結果となりました。しかし、小問別で分析と「一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる」問いと「複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる」問いにおいては、全国・県の平均正答率より10ポイント程度下回る結果となりました。小問別で大きく正答率が下回った2つの設問の単元において、補充指導を行いながら、現在教科内で実施している「単元内自由進度学習」についても指導の更なる充実に向けて取り組んでまいります。

<全体的に>

○ 生活面

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は県・全国と比較して、家庭でのルールを守り、規則正しい生活を送っている生徒が多く見られます。特に、「同じ時刻に毎日起きていますか」という問いに、約95%以上の生徒が肯定的な回答でした。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という問いについても、県・全国よりも高い平均値を示していました。一方で、「学校に行くのは楽しいと思いますか」や「友達関係に満足していますか」という問いについては、肯定的な回答が県・全国と比較して高いものの、「当てはまる」という最上位の回答選択で比べると、平均よりも低い値であるとや否定的な回答をする生徒も1割程度いるので、今後、生徒の活躍の場を広げるなど教育活動を充実させたり、教育相談の機会を増やし、生徒の悩みに寄り添ったりできるよう生徒のサポートを充実させていきたいです。

○ 学習面

生徒質問紙の結果より、本校の生徒は県・全国と比較して、授業や学習における質問に対して肯定的な回答が多かったです。家庭学習時間についても、平日・休日ともに県・全国平均よりも多い結果となりました。また、授業ではICTを多く使用しており、生徒もICTは有効であると感じているようです。今後も各教科で授業内におけるICT機器の有効活用を心掛けてまいります。さらに、家庭学習においてもICT機器の活用も含めて、生徒自身が自分の学び方を選択し、調整できるよう工夫を凝らしていきたいと思います。引き続き、一人でも多くの生徒の学習のつまづきが少しでもなくなるように、個別最適な指導を実施してまいります。